

| 第10期   | 2歳児  | I期（4月・5月）  |
|--|--|--|
| 発達の<br>主な特徴                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時、新しい環境に不安を感じたり緊張したりして泣いている園児もいるが、少しずつ慣れてきて先生の傍で安心して過ごせるようになる。</li> <li>・先生と一緒に興味のある遊びを見つけて遊んだり、先生の傍で一人遊びをしたりして、少しずつ遊べるようになる。</li> <li>・こぼしながらもスプーンやフォークを使って自分で食べたり、先生に手助けをしてもらったりしながら食事をする。</li> <li>・先生や友達と手をつないで、園の周辺に出掛けることを喜ぶ。</li> <li>・春の草花や虫に触れたり戸外で体を動かして遊んだりすることを喜ぶ。</li> <li>・絵本や紙芝居などの簡単な繰り返しのある言葉を喜び楽しんでいる。</li> <li>・リズムに合わせて体を動かしたり歌ったりして楽しんでいる。</li> </ul> |  |
| ねらい  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境に慣れ、先生に不安や要求を受け止めてもらいながら安心して生活する。</li> <li>○先生に見守られながら、自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。</li> <li>○散歩や戸外遊びを通して身近な春の自然に触れ、伸び伸びと遊ぶ。</li> </ul>  |  |
| この<br>期に<br>身に<br>付け<br>て<br>ほ<br>し<br>い<br>こと | 健康   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に見守られながら、スプーンやフォークを使って自分で食べようとする。</li> <li>・先生と一緒にトイレに行き、見守られて排泄しようとする。</li> <li>・ズボンや服などの着脱の仕方を知り、先生と一緒にやってみようとする。</li> <li>・先生と一緒に生活したり遊んだりすることを楽しむ。</li> <li>・春の自然に触れながら、戸外で元気に体を動かして遊ぶ。</li> </ul> |
| 人間<br>関係                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が傍にいて、安心して生活したり遊んだりする。</li> <li>・先生や友達と挨拶を交わしたり名前を呼んだりして親しむ。</li> </ul>  |  |
| 環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の持ち物や自分の場所が分かり、先生と一緒に始末しようとする。</li> <li>・草花や虫を見たり触ったりして、春の自然に親しむ。</li> </ul>   |  |
| 言葉   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものが載っている絵本を喜んで見る。</li> <li>・遊びを通して、いろいろな言葉に触れたり楽しんだりする。</li> </ul>  |  |
| 表現   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達と一緒に手遊びや触れ合い遊びを喜んでする。</li> <li>・砂や粘土に触れたり、見立て遊びをしたりして楽しむ。</li> </ul>  |  |
|  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆保育室は明るく清潔に整え、親しみやすく楽しい雰囲気にする。</li> <li>☆トイレは清潔に保ち、園児が安心して排泄できるような環境を整える。</li> </ul>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>環境構成<br/>(☆)と<br/>援助(○)<br/>の工夫</p> | <p>☆自分の持ち物の場所が分かるように、ロッカーや靴箱などに同じマークを貼っておく。</p> <p>☆先生同士の連携を密にし、一人一人の園児の発達段階、生活リズム、性格を把握し、個々に応じた援助や対応をする。</p> <p>☆園児の好きな遊びを知り、楽しく遊べるよう遊具や安全な環境を用意する。</p> <p>○園児の思いを汲み取り、共感したり応答したりする。</p> <p>○先生も一緒に遊びながら、園児が安心して楽しめるようにする。</p> <p>○先生が積極的に戸外に出て、園児と一緒に草花や虫を見付けて楽しむようにする。</p> <p>○自分で食べようとする気持ちを受け止め、少しずつ苦手なものが食べられるように手助けをしたり頑張りを認めたりする。</p> <p>○一人一人の排泄間隔に合わせてトイレに誘い、排泄できた時は十分褒めたり認めたりする。</p> <p>○園児の好きな歌や手遊び、季節の歌などを遊びに取り入れていく。</p> |
| <p>行事</p>                              | <p>進級式・入園式・春の遠足・家庭訪問</p>   |
| <p>家庭との<br/>連携</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境への不安や期待を受け止め、送迎時や連絡帳を通して園や家庭での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築くようにする。</li> <li>・環境の変化や疲れから体調を崩しやすくなるので、健康状態について連絡を取り合う。</li> <li>・家庭での生活リズムを把握し、無理なく園生活を送ることができるようにする。</li> </ul>  |

| 第11期   |  | 2歳児   | Ⅱ期（6月・7月・8月） |
|--|--|---|--------------|
| 発達<br>主な特徴   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑くなり食欲が落ちている園児がいる。</li> <li>・トイレで排泄できるようになり、布パンツに移行する園児が増えている。</li> <li>・着脱の機会が増え、自分からやってみようとする園児の姿が見られる。</li> <li>・簡単な繰り返しやリズムカルな言葉の出る絵本を喜び、「読んで」と繰り返し要求する。</li> <li>・少しずつ言葉が増え、言葉のやりとりを通して先生や友達と関わる姿が見られる。</li> <li>・先生と一緒に水遊びをすることで、怖がることなく安心して楽しむことができる。</li> </ul> |              |
| ねらい  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○先生に見守られながらながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○先生や友達と一緒に、夏の遊びを十分に楽しむ。</li> <li>○生活に必要な言葉が少しずつ分かり、したいことやしてほしいことを言葉で表現しようとする。</li> </ul>   |              |
| この<br>期に<br>身に<br>付け<br>て<br>ほ<br>し<br>い<br>こ<br>と | 健康   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・涼しい場所で楽しく食事をしたりおやつを食べたりする。</li> <li>・促されてトイレに行ったり見守られて排泄したりする。</li> <li>・手伝ってもらいながら体を拭いたり衣服を着替えたりする。</li> <li>・先生に甘えや欲求を受け止めてもらい、安心して生活したり遊んだりする。</li> <li>・涼しい環境の中で先生に見守られながら気持ちよく眠る。</li> </ul>   |              |
|  | 人間<br>関係   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に自分の気持ちを受け止めてもらい安心して過ごす。</li> <li>・少しずつ友達に関心を持ち、関わろうとする。</li> </ul>   |              |
|  | 環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水、砂、土などの感触を味わいながら、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・夏の虫、草花や栽培している野菜などを、見たり触れたりして興味や関心をもつ。</li> </ul>   |              |
|  | 言葉   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたいことやしてほしいことを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。</li> <li>・絵本や紙芝居を読んでもらうことを楽しんだり、自分の好きな絵本を繰り返し見たりする。</li> </ul>   |              |
|  | 表現   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達と一緒に歌を歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>・パスを使ってなぐりがきを楽しむ。</li> </ul>   |              |
| 環境構成<br>(☆)と<br>援助(○)                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆室内の温度や湿度に応じて換気や通気をし、気持ちよく過ごせるようにする。</li> <li>☆排泄の失敗時に素早く対応できるよう消毒用のバケツ、タオル、着替えなどを準備しておく。</li> <li>○暑さや外遊びなどで疲れやすいので、一人一人の健康状態に留意しながら水分補給・休息・午睡などを十分に取、ゆったりと過ごせるようにする。</li> </ul> |   |              |

|        |  |
|--------|--|
| の工夫    | <p>○暑さで食欲が減退する園児もいるので、一人一人の食欲に応じて量を加減する。</p> <p>○プール遊びや水遊びは職員間で連携して安全に遊べるようにする。</p> <p>○園児が遊んでいる様子を温かく見守ったり、必要な時は先生が仲立ちをしたりする。</p> <p>○先生も園児と一緒に体を動かして遊び、表現することの楽しさを共有する。</p> <p>○濡れたり汚れたりすることを嫌がる園児には、先生が楽しんでいる姿を見せながら無理なく誘うようにする。</p> <p>○園児の話はゆっくりと受け止め、話したいという気持ちを育むようにする。</p>   |
| 行事     | プール遊び・七夕まつり  |
| 家庭との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏に多い皮膚の疾患や感染症などを知らせ、予防や早期発見につながるようにする。</li> <li>・暑さのため疲れやすくなるので健康状態を細かく伝え合い、家庭でも十分休息がとれるように留意してもらう。</li> <li>・身の回りのことなどを自分でやりたいという気持ちを認めたり温かく見守ったりして、次への意欲につながるよう家庭と協力する。</li> <li>・水遊びやプール遊びなどで着脱の機会が増えるので、着脱しやすい服を準備し記名の確認をするように伝える。</li> <li>・水遊びやプール遊びを行うための健康カード（プールカード）への記入を依頼する。</li> </ul> |

| 第12期                                   |  | 2歳児  | Ⅲ期（9月・10月） |
|--|--|--|------------|
| 発達<br>主な特徴<br>園児の姿                     |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の疲れから体調を崩したり食欲が落ちたりして、生活が不規則になっている園児がいる。</li> <li>・自分から尿意や便意を知らせ、タイミングが合うとトイレで排泄できる。</li> <li>・友達とごっこ遊びを楽しむなど関わりが増えている反面、自己主張も強くなり友達とのぶつかり合いも多くなる。</li> <li>・かけっこやリズム遊びなど、クラスみんなで体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。</li> <li>・経験したことやしてほしいことを、簡単な言葉で先生に伝えようとする。</li> <li>・着脱の機会が増え、時間がかかっても自分から進んで着脱に取り組もうとする。</li> <li>・自然の変化に触れながら、戸外遊びや園外保育を楽しんでいる。</li> </ul> |            |
| ねらい                                    |  | <p>○先生に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でする。</p> <p>○先生や友達と一緒に、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○進んで戸外に出掛けて秋の自然に親しみ、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。</p>  |            |
| この<br>期に<br>身に<br>付け<br>てほ<br>しい<br>こと | 健康   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な物でも少しずつ自分で食べようとする。</li> <li>・自分から尿意や便意を知らせ、先生に見守られながらトイレで排泄しようとする。</li> <li>・先生や友達と一緒にリズムに合わせて体操をしたり、体を動かしたりすることを楽しむ。</li> <li>・自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> </ul>   |            |
|  | 人間<br>関係   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生を仲立ちとして、友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・生活や遊びの中で、順番や約束があることを知る。</li> </ul>   |            |
|  | 環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫や草花などを見付けたり散歩に出掛けたりして、秋の自然に触れて遊ぶ。</li> <li>・拾ってきた自然物を使って遊ぶ。</li> </ul>  |            |
|  | 言葉   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の中の簡単な言葉を繰り返して楽しむ。</li> <li>・見立て遊びやつもり遊びを通して、言葉のやりとりをする。</li> </ul>  |            |
|  | 表現   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな歌を歌ったり、リズムに合わせて伸び伸びと体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>・クレパスや絵の具などで、思いのままに表現する。</li> <li>・のりやクレパスや絵の具など、いろいろな用具を使って塗ったりかいたりして遊ぶ。</li> </ul>   |            |
| 環境構成<br>(☆)と<br>援助(○)<br>の工夫           | <p>☆活発に体を動かすことに興味をもつ時期なので、走ったり、段差をまたいだりなど全身を使って遊べるよう巧技台やマットなどの環境を整え、安全に注意しながら伸び伸びと楽しめるようにする。</p> <p>☆トイレは清潔に保ち、園児が気持ちよく排泄できるような環境を整えておく。</p> |  |            |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>○自分でしようとする気持ちを大切にしながら、園児にゆとりをもって接したり見守ったりする。</p> <p>○身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に、見守ったり一緒にしたりしながらやり方を丁寧に知らせる。</p> <p>○友達とトラブルになった時は一人一人の気持ちを受け止めた上で、先生が仲立ちとなり気持ちを伝えていく。</p> <p>○先生や友達と一緒に走ったり運動遊びをしたりする中で、全身を動かして遊ぶ心地よさを感じられるようにする。</p> <p>○排泄の失敗も大切な経験として叱らずに受け止めるとともに、成功した喜びに共感し自信へとつなげる。</p> <p>○落ち着いた雰囲気の中で好きな絵本を繰り返し読み、言葉のやり取りを楽しめるようにする。</p> <p>○秋の自然に触れる中で先生が感動したことを伝えたり、園児の発見や驚きに共感したりする。</p> |
| 行事     | 運動会・秋の遠足   |
| 家庭との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の疲れが出やすい時期なので、健康状態について家庭と密に連絡を取り合う。</li> <li>・運動しやすい服や足に合った靴を用意してもらい、戸外遊びを伸び伸びと楽しめるようにする。</li> <li>・自我の芽生えが園児の成長に大切であることを伝え、家庭と協力しながら、園児が自分でしようとする気持ちを受け止めたり見守ったりする。</li> </ul>   |

| 第13期   |          | 2歳児   | IV期（11月・12月） |
|--|----------|---|--------------|
| 発達の<br>主な特徴  |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな食べ物をよく食べるようになり、スプーンを上手に使ったり、箸を使ったりする園児が増えている。</li> <li>・布パンツで過ごしたり自分からトイレに行き排泄したりする園児が増えてきたが、気温が下がり排泄の回数が増え、間に合わない姿も見られる。</li> <li>・きれいに洗ったり拭いたりすることは難しいが、手洗いを自分でしようとする。</li> <li>・厚手の服装になり、着脱が難しい時は先生に手伝ってもらいながら自分で着脱しようとする。</li> <li>・先生に見守られながら、自分の好きな友達を誘ってごっこ遊びを楽しんでいる。</li> <li>・自己主張する姿が強くなるが、先生の援助により気持ちを切り替えることができる。</li> <li>・木の実や木の葉に興味をもち、喜んで見たり、触れたり、持ち帰ったりして楽しんでいる。</li> <li>・先生や友達と一緒に季節の歌を歌ったり、リズムにのって体を動かしたりすることを楽しんでいる。</li> </ul> |              |
| ねらい  |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な身の回りのことを自分からしようとする。</li> <li>○先生や友達と一緒に、ごっこ遊びや表現遊び、言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>○冬の訪れを感じながら、寒さに負けず元気に遊ぶ。</li> </ul>   |              |
| この<br>期<br>に<br>身<br>に<br>付<br>け<br>て<br>ほ<br>し<br>い<br>こ<br>と | 健康       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中で先生や友達と一緒に食事をしながら、無理なくマナーを身に付ける。</li> <li>・尿意や便意を感じ、先生に知らせてトイレで排泄する。</li> <li>・先生に見守られて、うがい、手洗いを丁寧にする。</li> <li>・簡単な衣服を自分で着脱し、先生と一緒に脱いだ衣服をたたむ。</li> <li>・天気のよい日は、先生や友達と戸外で体を十分動かして遊ぶ。</li> <li>・先生に温かく受け止めてもらい、自分の気持ちを安心して表す。</li> </ul>  |              |
|  | 人間<br>関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な約束を知り、順番を守ったり交代したりして先生や友達と一緒に遊ぶ。</li> <li>・友達や先生と関わりながらごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>   |              |
|  | 環境       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものの色、形に興味や関心をもつ。</li> <li>・落ち葉や木の実などを集めたり、それらを使って遊んだりする。</li> </ul>  |              |
|  | 言葉       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びに必要な言葉を使って、思ったことを先生や友達に話す。</li> <li>・先生と一緒に絵本の登場人物になったつもりで、言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>   |              |

|                              |  |   |
|------------------------------|--|---|
|                              | 表現   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な、はさみの使い方を知る。</li> <li>・カスタネット・すず・タンバリンなどの楽器に興味をもち、音色を楽しむ。</li> </ul> |
| 環境構成<br>(☆)と<br>援助(○)<br>の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆室内の換気や温度調節を行い、快適に過ごせるようにする。</li> <li>☆自分で身の回りの始末がしやすいように場を整えたり、時間にゆとりをもったりする。</li> <li>☆遊びを楽しめるように素材や用具などを十分準備しておく。</li> <li>○一人一人の健康状態を把握し、体調の変化に対応する。</li> <li>○厚手の服装になるので、排泄や着脱などを園児が自分でやりにくいときは適切な援助をする。</li> <li>○手洗いやうがいの仕方については、個人差に応じて丁寧に援助していく。</li> <li>○じっくりと話を聞いたり園児の驚きや発見に共感したりし、話すことの楽しさを味わうことができるようにする。</li> <li>○気の合う友達と一緒に遊びを楽しめるような場を設け、先生も一緒に遊びを楽しんだり、仲立ちをする中で言葉のやりとりが楽しめるようにする。</li> <li>○先生も一緒に歌ったり体を動かしたりしながら表現する楽しさを園児と共有し、満足感や充実感が味わえるようにする。</li> <li>○絵本の登場人物になったつもりで繰り返し遊びを楽しむことで、イメージを膨らませ、言葉を交わす楽しさを味わうことができるようにする。</li> </ul> |   |
| 行事                           | 生活発表会・クリスマス会   |   |
| 家庭との<br>連携                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）・RSウイルスなどの症状、予防について情報提供する。また早期発見、早期治療のために、園児の健康状態についてこまめに連絡を取り合う。</li> <li>・園で頑張っている姿を伝え、家庭でも認めてもらえるように情報共有をする。</li> <li>・必要以上に厚着にならないように伝え、伸び伸びと活動できるようにする。</li> </ul>  |   |



| 第14期   | 2歳児   | V期（1月・2月・3月）   |
|--|---|--|
| 発達の<br>主な特徴  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・箸を使って食事をする。</li> <li>・鼻水が出たら先生に知らせたり，促されて拭いたりする。</li> <li>・身の回りのことは，一人でできることが増えてくる。</li> <li>・ズボンを下ろして便器に座ったり，男児は立ち便器での排泄がスムーズになったり，見守られながら始末をしたりする姿が見られる。</li> <li>・生活に必要な言葉がほぼ分かり，自分の意思や欲求を言葉で伝えることができる。</li> <li>・友達と2～3人でごっこ遊びを楽しみ，遊びを通して友達との関わりが広がってくる。</li> <li>・寒くても戸外で遊ぶことを喜ぶ。</li> </ul> |  |
| ねらい  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でできるようになったことを喜び，簡単な身の回りのことを進んでする。</li> <li>○先生や友達と一緒に，ごっこ遊びや簡単な集団遊びなどを楽しむ。</li> <li>○身近な自然を見たり触れたりすることを楽しむ。</li> <li>○異年齢との関わりを通して，進級への期待をもつ。</li> </ul>  |  |
| この<br>期<br>に<br>身<br>に<br>付<br>け<br>て<br>ほ<br>し<br>い<br>こ<br>と | 健康  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食器や箸の持ち方に気を付けながら，食事をする。</li> <li>・鼻水が出たら自分で始末しようとする。</li> <li>・衣服の前後を知り，自分で着脱したりたたんだりする。</li> <li>・排泄後，トイレットペーパーで始末しようとする。</li> <li>・友達と一緒に戸外で十分体を動かして遊ぶ。</li> </ul> |
|  | 人間<br>関係  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを通して，友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・異年齢児と関わりながら一緒に遊ぶ。</li> </ul>  |
|  | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の自然を感じながら，戸外で元気に遊ぶ。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して身近な自然の変化に気付いたり触れたりして，興味や関心をもつ。</li> </ul>  |
|  | 言葉  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や友達に，経験したことを進んで話す。</li> <li>・したいことやしてほしいことを，言葉で表現する。</li> </ul>  |
|  | 表現  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな用具を使って切ったり，貼ったり，かいたりして遊ぶ。</li> </ul>  |

|                              |  |
|------------------------------|--|
|                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムにのって友達と一緒に好きな歌を歌ったり踊ったりして楽しむ。</li> </ul>  |
| 環境構成<br>(☆)と<br>援助(○)<br>の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆気温の変化に応じて室温や換気に気を付け、安全で保健的な環境を整える。</li> <li>☆寒暖差が激しい時期なので、体調を崩さないよう一人一人の健康状態を把握し、個々に合わせて対応する。</li> <li>☆体を十分動かすことができる遊びや、安全に遊べる場所などの環境を用意する。</li> <li>☆異年齢児と関わることで、進級に期待感をもてるようにしていく。</li> <li>○排泄の後始末の仕方を再確認しながら、一人一人に応じて援助していく。</li> <li>○着脱する姿を見守りながら褒めたりできないところを手伝ったりし、自分でできた喜びを感じられるような援助をする。</li> <li>○鼻水を拭いた後は、気持ちよさを感じられるような言葉掛けをする。</li> <li>○自分でしようとする気持ちを受け止め、見守ったり言葉を掛けたりなど必要な援助をする。</li> <li>○ゆったりとした雰囲気の中で、一人一人の成長を受け止めたり褒めたりすることで喜びや満足感をもてるようにする。</li> <li>○一人一人の園児の話をしっかり聞き、思いを受け止めることで、安心して言葉で表すことができるようにする。</li> <li>○いろいろな遊びを通して順番やルールを伝えたり、トラブルになった時には先生が仲立ちをしたりしながら楽しく遊べるようにする。</li> <li>○冬から春へ向かう自然事象は機会を捉えて遊びに取り入れたり、園児の発見や驚きに共感しながら他の園児にも伝えていく。</li> </ul> |
| 行 事                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>豆まき・ひな祭り会・卒業式</li> </ul>  |
| 家庭との<br>連携                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態について連絡を取り合い、感染症予防のため家庭でも手洗い・うがいの励行をお願いする。</li> <li>・一年間を振り返り、成長した姿を喜び合う。また一人一人の生活習慣の様子を話し合い、褒めたり励ましたりしながら丁寧に関わっていくことを確認し合う。</li> </ul>   |